

第13回

《山上憶良》部分
菅 楯彦筆（個人蔵）

「家族」をつなぐ
歌がある

山上憶良 短歌賞

題字 名越蒼竹氏
（公益財団法人書道芸術院理事）

テーマ

「家族」

受付
期間

令和6年
7月1日～11月3日

背景：法華寺畑遺跡から見た伯耆大山

応募料 無料

作品 自作未発表で一人1首に限る

募集部門 ①小学生の部 ②中学生の部
③高校生の部 ④一般の部

応募方法 倉吉市立図書館に郵送か持参する。
または、とっとり電子サービスから応募する。

賞 各部とも 憶良賞1首、入選5首
佳作10首、学校賞1校

憶良賞、入選、佳作受賞者には表彰状と副賞を贈呈する。
学校賞受賞校には表彰状を贈呈する。
※なお学校賞は小学生の部、中学生の部、高校生の部において実施する。

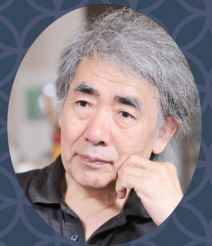
選者

《山上憶良歌碑》（国分寺歴史公園北側）

永田 和宏（JT生命誌研究館館長・京都大学名誉教授
京都産業大学名誉教授・短歌結社「塔」前主宰
宮中歌会始詠進歌選者・朝日歌壇選者・角川短歌賞選考委員）
池本 一郎（鳥取県歌人会顧問・短歌結社「塔」）
多田 典子（短歌結社「国民文学」・はわい短歌会）
押本 昌幸（鳥取県歌人会会長・倚子の会）
岩垣 和久（倉吉文芸編集委員会事務局長）
中本久美子（鳥取県歌人会副会長・短歌結社「塔」）

表彰式

開催日：令和7年2月24日（月・振休）
場所：倉吉交流プラザ視聴覚ホール 講評：永田和宏氏
※表彰式後には「永田和宏短歌講演会」を開催



主催／倉吉市教育委員会

後援／鳥取県教育委員会・鳥取県歌人会

問い合わせ

倉吉市立図書館（倉吉交流プラザ内）〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町187-1

応募先

電話 0858-47-1183 FAX 0858-47-1180 E-mail library@city.kurayoshi.lg.jp

山上憶良短歌賞

で検索！

ご応募はこちらから



応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入の上、
倉吉市立図書館に郵送か持参する。
または、とっとり電子申請サービスから応募する。

問い合わせ ・ 応募先

倉吉市立図書館（倉吉交流プラザ内）
〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町 187-1
電話 0858-47-1183
FAX 0858-47-1180
E-mail library@city.kurayoshi.lg.jp



山上憶良短歌賞
ホームページ

審査発表

令和7年2月中旬 ホームページにて発表

〒682-0816

鳥取県倉吉市駄経寺町 187-1

倉吉市立図書館

「第13回山上憶良短歌賞」行

ハガキ表面貼付用

氏名	フリガナ
住所	〒
電話番号	

点線で切る

部門	
「 ☐ 小学生 ☐ 中学生 ☐ 高校生 ☐ 一般	「 ☐ 学校 ☐ 年生

短歌作品 記入欄 テーマ「家族」

ハガキ裏面貼付用

応募前に必ず下記の2点をご確認のうえ ☒ 印をつけてください。



- ☐ 未発表・自作に間違いはない。
- ☐ 二重投稿（同一作品を他へ投稿）していない。

第13回

山上憶良短歌賞

家族への

想いおくらむ この歌に

題字 名越蒼竹氏
（公益財団法人書道芸術院理事）



山上憶良と倉吉

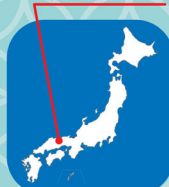
貧窮問答歌で有名な万葉歌人・山上憶良は霊亀2年（716）に鳥取県の西半分にあたる伯耆国（国府は倉吉市に置かれた）に国守として赴任しました。憶良が伯耆国で作った歌は伝わっていませんが、職務で見聞したことを詠んだことでしょう。

倉吉市は平成24年に「山上憶良短歌賞」を創設し、県内を中心に短歌募集を行ってきました。平成28年に憶良の赴任1300年を迎えるのを機に全国から広く短歌募集を行い、令和5年度は47都道府県からご応募いただきました。

募集する短歌のテーマは「家族」です。妻や子、家族への愛を詠った憶良にちなんでおり、短歌をきっかけに家族への絆を見つめ直すとともに、家族愛を育む機会になればと考えています。

また、伯耆国分寺跡に設けられた歴史公園に、憶良賞受賞作品の歌碑が、市民の方々の寄付によって建立されました。倉吉に来られた際には、ぜひお立ち寄りください。

鳥取県倉吉市



白壁土蔵群